

## 人口と世帯数

(住民基本台帳による)

3月31日現在		(前月比)
総人口	25,499人	(96人減)
男	12,491人	(45人減)
女	13,008人	(51人減)
世帯数	7,079世帯	(14世帯減)

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係



## 町内の各河川でクリーンアップ

5月4日午前6時から1時間半にわたって、町内を流れる各河川でクリーンアップ作戦が展開され、およそ1千人が参加して清掃に汗を流しました。

今回のクリーンアップは、米代川、糠沢川、綴子川、前山川、小森川、小猿部川の各河川で、去る4月6日の豪雨で岸辺にひっかかったビニールや枯枝を拾い集めて、焼却や回収して汚れを一掃しました。

No. 432

55・5・15

— 4月25日の臨時町議会で —

# 畠山助役・河田収入役を再選

— 一般会計は37億3千万円に —

第三回臨時町議会は四月二十五日に開かれ、助役、収入役ほかの人事同意案、一般会計補正予算、辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定など十一議案が上提され、それぞれについて審議の結果、いずれも原案どおり決定しましたので、その内容についてお知らせします。

## 議会選出の監査委員に今野氏

任期満了にともなう助役、収入役、議会選出の監査委員、教育委員会の委員、固定資産評価審査委員会の委員の五人事件が提案されましたが、それぞれ同意を得て次のとおり選任されました。

▽助役 綴子字東館一の二 畠山喜代治氏(59)を選任。

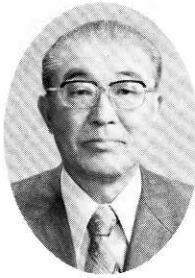
畠山氏は、昭和十三年鷹巣農林卒、北海道庁旭川森林事務所勤務、十六年入隊して陸軍大尉、二十一年綴子村役場書記、三十一年町村合併により鷹巣町役場へ、三十九年町民課長、四十三年保健衛生課長、四十七年四月教育委員会総務課長、学校教育課長を兼務、五十年六月収入役に就き、五十二年五月に助役に選任されています。今度が二度目の選任です。



畠山 喜代治

▽収入役 鷹巣字愛宕下十九の三 河田英治氏(61)を選任。

河田氏は、昭和十一年鷹巣農林卒、札幌雪印バターKK勤務、十三年騎兵第二十三連隊満州部隊に入隊、十六年新京満州関東軍総司令部参謀第一課勤務、二十一年北海道村岡味噌油KK勤務、二十六年鷹巣農協書記、二十七年会計主任、三十七年四月から参事、五十一年五月に収入役に選任されており、今度が二度目の選任です。



河田 英治

▽議会選出の監査委員 鷹巣字南塚俗十四の五 今野実氏(47)を選任。

今野氏は、三十九年四月に町議会議員に初当選、今回は五期目。この間、青少年問題協議会委員、総務常任委員会副委員長などを務め、四期目の五十一年四月に監査委員に選任されており、今度が二度目の選任です。

▽教育委員会の委員 小森字四渡十六 成田正直氏(54)を、五

十一年五月に次いで再選しました。固定資産評価審査委員会の委員 栄字下夕前田二十九 柳谷重治氏(59)を選任。

柳谷氏は、栄字下夕前二十碓谷喜代松氏(65)の任期満了にともなう後任者として選任されたものです。

## 「五十五年度一般会計に」三千七百万円余を追加

▽昭和五十五年度一般会計補正 昭和五十五年度一般会計予算は、三千七百六十四万四千円を追加し、歳入歳出それぞれの総額は三千七億三千二百四十四万四千円となりました。

歳入は、地方交付税で六百八十八万四千円、分担金および負担金で六百五十六万六千円、県支出金で一千六百四十万六千円、町債で七百八十万円をそれぞれ追加しております。また、債務負担行為は、体育館の付属駐車場としての用地購入のため、五十五年九月十日から六十五年九月三十日まで十年の期間で五千三十六万三千円を限度に借り入れたもの。

歳出は、農地災害復旧費三千五百六十九万六千円と、債務負担により体育館の付属駐車場用地購入費の今年度償還金百九十五万四千円の追加。

▽辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

昭和五十五年度から五十九年度までの五年間に、次の辺地に係る公共的施設の総合整備事業を策定

したもので、辺地と事業費は次のとおりです。

- ◎岩谷辺地(岩谷、二本杉、大畑、松原、田子ヶ沢) 事業費一億七千五百万円
- ◎黒沢辺地(黒沢) 二億六千六百万円
- ◎大沢辺地(李岱、大沢、田沢、向黒沢) 三億八千九百三十九万四千円
- ◎蟹沢辺地(蟹沢) 一億七千万円
- ◎坊山辺地(湯の岱、坊山、四渡) 四千四百九十万円
- ◎三ノ渡辺地(明利又、松沢、黒森、三ノ渡、与助岱、葛黒、大畑、中畑) 二億六千七十万円
- ◎舟木辺地(上舟木、下舟木、吉ヶ沢、深沢、品類) 一億七千三百万円

### 専決処分の承認

▽辺地に係る公共的施設の総合整備計画(昭和五十年より五十四年まで)の変更

昭和五十年から五十四年までの五年間を期間とする黒沢、蟹沢、三ノ渡、岩谷、大沢の五つの辺地に係る総合整備計画書を最終年次である五十四年度に、事業実施計画の内容について整備路線名の明示と、追加事業等の変更を専決したものです。

▽五十四年度七座財産区会計補正 三万五千円を追加し、歳入歳出それぞれの総額は九百三十三万五千円に。

▽五十四年度一般会計補正 歳入歳出それぞれ四十一億八千三百十万六千円で、金額には変わりありませんが、内容の補正です。

# 金沢さんに藍綬褒章

## 春の叙勲 桜庭さんは勲七等に

政府は、天皇誕生日の四月二十九日付けで、学問や芸術などの分野で優れた成績を上げた人や、社会に貢献した人に贈る春の褒章と生存者叙勲を発表しましたが、当町から統計調査功勞で掛泥・金沢多蔵さん(69)が藍綬褒章に、蟹沢・桜庭与助さん(69)は水位観測功勞で勲七等青色桐葉章の榮譽に、それぞれ輝きました。



桜庭与助



金沢多蔵

▽藍綬褒章に輝いた金沢多蔵さんは、昭和十年第四回国勢調査から調査員となり、以来今日まで約半世紀にわたる国勢調査をはじめ、農林水産調査、農業センサス調査等各種統計調査員として活躍され、統計行政の重要性を深く認識、その調査態度は他の模範でもありません。

こうした功績が認められ、昭和

三十八年に県知事表彰、五十三年には総理大臣表彰を受彰、このたび暗れの藍綬褒章に輝いたものです。

▽勲七等青色桐葉章に輝いた桜庭与助さんは、昭和十五年四月に米代川の水位観測を建設省能代工事事務所から嘱託。これまで四十年間、米代川の蟹沢地域で毎日朝夕の二回水位観測しているほか、警戒水位を越えると一時間おきに観測、能代工事事務所に電話報告を続けているものです。

こうした功勞が認められ、昭和四十八年に東北地方建設局長、四十九年には建設大臣表彰を受彰、このたび暗れの勲七等青色桐葉章に輝いたものです。

### 分館長・主事を委嘱

教育委員会では、鷹巣町公民館の分館長と教育主事を次のとおり

委嘱しました。

- 任期は、いずれも五十七年三月三十一日までの二年間。
- ▽鷹巣 河田芳一(成人教育主事)
- 成田ミネ(婦人同) 大川幸一(青年同) 相馬勤(体育同)
- ▽栄分館 松尾精一(分館長) 小坂誠一(成人教育主事) 岩谷幸子(婦人同) 村上進(青年同) 斎藤富美雄(体育同)
- ▽坊沢分館 成田清治郎(分館長) 永井修二郎(成人教育主事) 佐藤敏子(婦人同) 長崎靖夫(青年同) 佐藤茂延(体育同)
- ▽七座分館 武田勇美(分館長)

## 綴子下町で町長と語る会



今年度第一回目の「町長と語る会」が、四月二十八日午後七時三十分から綴子下町(綴子公民館)で開かれました。

「町長と語る会」は、町の施策や事業など、広く町民のみなさんに知っていただくとともに、地域の要望など、生の声を町政に反映させるために開いているものです。当日は、最初に出川町長が町政全般について報告したあと、参加者からは、同地域に建築が予定されている基幹集落センターの構想や、町道の改良舗装、簡易水道事業などについて質問や要望がだされました。

なお、「町長と語る会」は地域の要望により開いておりますので、開催を希望する部落(町内会)がありましたら、役場総務課広報係(電話二二一一・内線二四四)にご連絡ください。開催日時等調整のうえ伺うことしております。

## 町長日誌

- 4月16日～4月30日
- 16日 鷹巣阿仁広域市町村圏組合管理者、副管理者会議
  - 17日 郡町村会協議会
  - 18日 工事現場視察
  - 17日 転入教員に町を紹介する会
  - 21日 東北地区道路利用者会議
  - 21日 青森市
  - 22日 町有林視察
  - 23日 七座体育館竣工式
  - 24日 消防関係連絡会議
  - 24日 山元貯木場(木材流通センター)記念市
  - 25日 町議会臨時会
  - 26日 第十八回河田杯マラソン大会
  - 28日 町長と語る会 綴子下町
  - 30日 全天候型陸上競技場工事現場視察
- 議 会 日 誌
- 4月16日～4月30日
- 17日 議会運営委員会
  - 19日 教育関係者懇談会
  - 21日 議会運営委員会
  - 23日 七座体育館竣工式
  - 25日 町議会臨時会

## 国民年金の特例納付制度は

六月三十日までです



### 町長への手紙

公聴活動の一環として、去る二月十五日から四月十五日までの二カ月間、「町長への手紙」を実施したところ、町政への提言や要望、苦情など、数多く寄せられましたので、その一部を紹介いたします。

なお、寄せられた手紙はそれぞれ検討、回答の必要なものについては個人ごとに回答したほか、これからの町政に反映させていくことにしております。

### 青空市場、週三回は開いてほしい

田子ヶ沢 津谷三五郎 (63)

私は、野菜を作っておりますが、流通ルートを利用して出荷するほど大量には生産しておりません。スーパーなどに持っていくと、引き取られた額より高い値段がつけられたりします。

農家が直接消費者の方々に、野菜、山菜を安く売ることができるよう朝市を開いてほしいと思います。青空市場のように月一回だけでなく、週に三回くらい開いてほしいのです。

(答え) 現在、毎月二十三日に鷹巣町内の生活改善実行グループ組織により市場を開設し、役場裏を町で提供していますが、グループの反省会でも、時季ものによって週一回ぐら開設してはどうかと検討されております。

しかし、農繁期等の問題、また

市日が月三回開設されている現状などの点で難しく、現在までに至っている状況です。

今後、転作等による農産物の出回りが多くなると予想されますので、作付状況を調査、検討し、農協、生活改善グループ・集落の生産集団等と連携をとりながら、多量も・少量も・品数等の問題、老人クラブ組織の呼びかけ、また町内の青果店の対応など、関係団体と協議していきたいと思っております。

### 駅前自転車置場の整とんを

駅前 北林正雄 (57)

鷹巣駅前には、通勤・通学者のために自転車置場が設置されています。

しかし、自転車の置き方は乱雑、家の前や通路に平気で置いてあるなど、自動車の出入りに大変困っています。もしも火災があった時などを考えると、ゾッとします。去年は毎日整理してみましたが、

一人ではどうにもなりませんでした。

利用者の方々は、お互いの注意で人に迷惑のかわらないように利用してほしいものです。

### 消防署の拡声機よく聞きとれない

米代町 五代儀丑助 (71)

東仲通 奥山 正吉 (67)

消防署の拡声機の声がよく聞きとれません。風の向きでサイレン

### 交通事故ほどこわいものはない

綴子下町 岩谷ツヤ (65)

私の息子は、去年の暮に思いがけない交通事故にあい、廃人同様の体になってしまいました。

息子は、父親に死に別れてからというものが、青春時代もなく、一家の大黒柱として私達のために働いてきてくれました。

こんな息子を不自由な体にしてしまった交通事故を恨んでも恨みきれません。お金も一文もいりません。息子を元の体にして帰してもらいたい...それだけです。

母さん(嫁)は、毎日息子につききつり、私も心配のあまりか体の具合が悪くなり、毎日病院通いです。女だけの家庭で何ができません。これから先のことを思えば、目の前がまっくら闇になります。

皆さま、交通事故ほどこわいものはありません。どうか十分注意

して、事故のないようにしてください。

の音も聞こえないこともあります。町内の二、三カ所に、聞きとれるような設備はできないものではないか。

(答え) 現在取り付けてある拡声装置は、昭和四十七年三月に設置したもので、耐用年数も限界の時期となっております。

更新の際は、現在の装置より三倍くらい出力のものが必要と思われるのですが、音量の遠近調整など技術的な面も含めて、検討を急いでおります。

### 流送橋の整備を

蟹沢 桜庭 学 (65)

坊沢と蟹沢間の橋(流送パイプ)を利用してはいますが、完成してまもない頃は毎年ペンキの塗り替えをしていましたが、ここ数年は塗り替えもなく荒れ放題です。

手でさわると表面の塗装がはがれるような状態で、事故にならなければよいがと心配しています。

雨の日、風の日、通勤・通学に往復する人のことを考えれば、せめてペンキの塗り替えだけでもしてほしいと思います。

(答え) 橋は、県の所有なので町が借りて使用しているものです。手入れをするにしても町単独ではできませんので、関係方面と協議してまいります。

## 燃やすまいみんなが来る山 歩く山

### 山火事防止重点推進事項

◆ たばこの吸がら、たき火のあと始末

- ◆ 火入の許可を受ける
- ◆ 強風、乾燥時、また枯れ草等のある場所では火の使用をさける



# イイ湯だなあ 連日大にぎわい

## 一日平均百人が入浴

五十三年十二月二十四日オープンした湯の岱温泉湯治場は、開設以来町内はもちろん、町外からも訪れる人が多く、湯治場は連日にぎわいをみせています。

湯の岱温泉は、当町では初めての温泉であり、いわば町民いこいの湯治場としてスタートしました。が、泉質が含食塩石膏泉(緩和性低張温泉)で、リュウマチ性疾患や動脈硬化症、高血圧、創症などに効き、湯に入ったあとも湯ざめがなく、体がポカポカすることから入浴者は当町ばかりでなく、阿仁部や比内町などからのファンも多く、湯治場は予想以上の入浴者で連日にぎわいをみせ、五十四年度一年間の入浴者数は、のべ三万四千八百人、一日平均で百・八人と

なっています。

これを月別の入浴者数でみると、トップが今年三月の四千四百五十八人、次いで一月の四千七十七人、二月の四千二十七人がベストスリー。

最底は昨年十月の一千八百九十七人、次いで十一月の二千四百八十八人、九月の二千五百五十八人と、農閑期には多く、農繁期に少ないことがはっきりしています。

一日の記録では、ベストスリーがいずれも今年二月の日曜日で、二十四日が三百七十七人、十七日が三百五十五人、三日が三百九人。少ない日は、昨年の十一月六日(火)が二十六人、前日の五日(月)が二十九人、十月二十七日(土)が三十人となっています。

いずれこれからは農繁期が続き、湯治場は比較的すいてきます。あなたもぜひ一度、機会をみて

## 湯の岱温泉



湯の岱温泉においてください。

湯治場の利用時間は、毎日午前十時から午後九時までですが、毎月第二、第四月曜日は休館します。ただし、当日が祝日の場合は開館しております。

なお、湯の岱湯治場使用料は、一時間以内、大人(十二歳以上)百五十円、中人(六歳以上十二歳未満)八十円、小人(六歳未満)無料。一時間以上は、大人二百五十円、中人百五十円、小人無料となっております。

電話番号は、六局二九〇四番です。ご利用ください。

# 郷土史年表

西暦	年号	事
一七二四	正徳三	八月二日、屋形様御渡野、綴子に止宿し、翌日大館へ通行
一七二五	正徳四	鷹巣村更に打直検地、郷高九百石 肝煎 三代 斎藤兵部 米代川べりの舟場に家三軒(今の舟見町のはじまり) 成田村洪水で荒廢 三ッ谷村、川欠で小勝田川出口へ移る。家三軒 太田村水除柳林御札下附さる (吉宗將軍となる) 奉公人の給料を定めた。男一ヵ月、食事付銀十二匁 女同七匁 三月十四日、津軽土佐守、綴子に止宿、翌日大館に通行 六月、米代川大洪水 坊沢村で、村入用額増徴をめぐって肝煎と郷人が抗争す 十一月六日、直訴を企てた五義氏、桜木岱において斬首の刑に処せられた 六月、米代川大洪水、田畑浸水し、九月、大風で稲半ばこぼれ落ち不作 五月、綴子村、糠沢村に打直検地あり、綴子郷高 二千六百石四斗、肝煎初代八郎兵衛 郡村改めの節、太田村を太田新田村と改称 武内烈光、内館塾を開く 久保田(秋田市)大火、千二百軒焼失 房沢村を坊沢村と改称す。清左エ門家、兵助家より肝煎役を継承す 摩当山洞原沢御札林仰付けられ立札たてる 坊沢村大火、百七十三軒全焼、俗に卯太郎火事と称す。太田新田村十五戸全焼す (次号に続く)
一七二六	享保一	
一七二七	享保二	
一七二八	享保三	
一七二九	享保四	
一七三〇	享保五	
一七三三	享保八	
一七三六	享保一一	
一七三九	享保一四	
一七四二	享保一七	
一七四五	享保二〇	
一七四八	享保二三	
一七五二	享保二七	
一七五五	享保三〇	
一七五八	享保三三	
一七六一	享保三五	
一七六四	享保三八	
一七六七	享保四一	
一七七〇	享保四四	
一七七三	享保四七	
一七七六	享保五〇	
一七八〇	享保五四	
一七八三	享保五七	
一七八六	享保六〇	
一七八九	享保六三	
一七九二	享保六六	
一七九五	享保六九	
一七九八	享保七二	
一八〇一	享保七五	
一八〇四	享保七八	
一八〇七	享保八一	
一八一〇	享保八四	
一八一三	享保八七	
一八一六	享保九〇	
一八一九	享保九三	
一八二二	享保九六	
一八二五	享保九九	
一八二八	享保〇二	
一八三二	享保〇六	
一八三六	享保一〇	
一八四〇	享保一四	
一八四四	享保一八	
一八四八	享保二二	
一八五二	享保二六	
一八五六	享保三〇	
一八六〇	享保三四	
一八六四	享保三八	
一八六八	享保四二	
一八七二	享保四六	
一八七六	享保五〇	
一八八〇	享保五四	
一八八四	享保五八	
一八八八	享保六二	
一八九二	享保六六	
一八九六	享保七〇	
一九〇〇	享保七四	
一九〇四	享保七八	
一九〇八	享保八二	
一九一二	享保八六	
一九一六	享保九〇	
一九二〇	享保九四	
一九二四	享保九八	
一九二八	享保〇二	
一九三二	享保〇六	
一九三六	享保一〇	
一九四〇	享保一四	
一九四四	享保一八	
一九四八	享保二二	
一九五二	享保二六	
一九五六	享保三〇	
一九六〇	享保三四	
一九六四	享保三八	
一九六八	享保四二	
一九七二	享保四六	
一九七六	享保五〇	
一九八〇	享保五四	
一九八四	享保五八	
一九八八	享保六二	
一九九二	享保六六	
一九九六	享保七〇	
二〇〇〇	享保七四	



## 第18回 河田杯マラソン 270人が健脚競う

第十八回河田杯マラソン大会が、四月二十六日午後二時後場庁舎前スタートで行われました。大会には、中学や一般、壮年など九部門に町内外から二百七十人が参加、それぞれの部門で健脚を競い合いました。…当町から出場し、六位まで入賞した方は次のとおりですが、毎年上位に入賞している鷹中男子が、今回は振るわず六位までの入賞者はおりませんでした。

▽中学校女子(2キ) ③相馬明美(鷹中) 6分52秒 ④松浦ひとみ(同)

▽一般(8キ) ②熊谷芳弘(鷹巢) 26分23秒 ④関昌末(沢口) ⑤高橋喜久雄(綴子) ⑥大川洋一(鷹巢)

▽壮年A(35歳以上) 4キ ①成田弘(沢口) 14分36秒 ②出川吉弘(綴子) ③藤内順一(七座) ④大川武治(鷹巢) ⑤藤内文雄(七座)

▽壮年B(40歳以上) 2キ ①本城谷武夫(鷹巢) 6分21秒 ②佐藤実(同) ③鈴木一弘(綴子) ④斎藤和治(同) ⑤成田由美(七座) ⑥相馬進(七日市)

▽壮年C(45歳以上) 2キ ①佐藤弘夫(鷹巢) 6分44秒 ②伊藤義直(同) ③亀山武次郎(同)

▽壮年D(50歳以上) 2キ ①大川孝造(綴子) 6分43秒 ②村上太四郎(鷹巢) ③佐々木勲(鷹巢) ④三沢実(綴子)

# 農作業標準 労賃決まる

鷹巢町農作業労賃協定会議は、今年度の農業労働賃金を次のように決めました。また、耕起と代かきのトラクター、耕運機別の料金を廃止してトラクター一本にし、耕運機はトラクターに準じます。

▽耕起(十アール) 整理田三千五百円、未整理田四千円

▽代かき(十アール) 整理田四千二百円、未整理田四千七百円

▽田植機械(十アール) 整理田四千六百円、未整理田五千円

▽田植(一日) 三千六百円

▽除草(一日) 三千六百円

▽その他の農作業(畑作業も含む) 男三千六百円、女三千二百円

●苗取り作業は田植と同じ

▽稲刈り 手刈り三千六百円、バインダー(整理田) 四千六百円、(未整理田) 五千円、コンバイン(整理田) 一万三千五百円、(未整理田) 一万五千六百円

●周囲刈取り除く。扱運搬は一千八百円増。湿田の場合は別途。

▽ハーベスター(十アール) 五千二百円

▽畑の耕起(十アール) 四千円。畝立の場合は二千七百円の増。

▽稚苗(一箱) 緑化四百二十円、硬化五百二十円

▽中苗 六百円以内

●転作耕起作業は、十アール当たり五千六百円とする。(植え付け可能にして)

●なお、農作業にあたっては、次の点に配慮してください。

▽一日の労働時間は、原則として八時間とする。

▽休憩時のオヤツ、また飲食接待等は、他への影響も大きく悪循環となりまますので、廃止するようご協力ください。

▽一農家で支払額を上昇させると他農家への影響があるので、協定賃金を守ってください。

### 歩こう会・走ろう会

気軽に簡単にできる健康づくりのための「歩こう会・走ろう会」が毎週土曜日、児童公園前スタートで行われます。

期 日 5月17日から8月23日まで

時 間 午前六時～六時四十分

▽美容と健康を守るため

▽老化を防ぎ、体力をつくるため

▽ストレスを解消し、快適にくらすために…気軽に参加してください。

●走るときの注意

- 体の筋肉や関節をときほぐし、準備運動をして走ることに。
- 記録をつくる競争ではありません。

●マイペースとは、自分の体に合った距離、速さ、運動量であること。

●走っている途中で気分が悪くなったなら、直ちに中止しよう。

### 主婦の健康教室

みんなが楽しく、お互いにつまんでも、若く美しく、そして健康と体力づくりのための「主婦の健康教室」を開きますので、多数の参加をお待ちしています。

期 日 5月20日から7月22日まで、毎週火曜日

時 間 午前十時～十二時

会 場 鷹巢体育館

参加料 千四百円(スポーツ傷害保険六百八十円を含む)

●途中参加の場合も同じ。

●参加ご希望の方は、参加料を添えて鷹巢体育館(電話二一三八〇〇)へ申し込みください。

●近所の方をお誘いのうえ、多数参加してください。

▽運動のできる服装で、内ズックを持参してください。

カメラ・ルポ

カメラ・ルポ

カメラ・ルポ

### 『七座で喜びの体育館竣工式』

## 幅広い活用を期待

今泉の旧七座小学校跡地に建設していた七座体育館が、このほど完成、四月二十三日午後一時から同体育館に地元は今泉、前山、黒沢、蟹沢、それに工事関係者など、およそ二百人が出席して竣工式と祝賀会が開かれました。

式典で出川町長は、「七座地区には中心的な施設がなかったが、体育館の完成により、地域住民の健康増進はもちろん、地域のコミュニティづくりにも大いに役立ててほしい。また、体育館の隣接地にグラウンドを年内に完成させたい」と述べました。同体育館の幅広い活用が期待されます。



### 『中央公園の桜まつり』

## 四日は一万人の人数

四月二十九日から五月五日まで、七日間の期間で行われた中央公園の「桜まつり」は、前半は肌寒い天気でしたが、三連休の折り返し地点にあたった五月四日は、朝から五月晴れに恵まれ、二十二・五度とことし最高気温を記録。この好天にサクラは満開、中央公園には家族連れやグループなど一万人の花見客でにぎわいました。

なお、桜まつり期間中、中央公園にはおよそ三万三千六百人の人出でした。

### 『南米から畠山さん親子里帰り』

## 日本の春を楽しむ

昭和八年にブラジルに移住した七日市大畑出身の畠山仁市さん(77)と、二世で四男の富士夫さん(40)親子が四月二十日に里帰り、五月十三日まで滞在。計画していた青函連絡船、新幹線、東京都内など、日本の春を心ゆくまで楽しみ、ブラジルに帰りました。

畠山さんは、現在サンパウロ市内で年金生活。子どもは男九人、女三人と子宝に恵まれ、それぞれ独立。七年前にも子どもたちが旅費を出し合って里帰りしており、今度は、四男で建築技士の富士夫さんが、「お父さんの元気なうちに父のふるさとをみたい」と、数年前から貯金をして、親子一緒に里帰りしたものです。



# 交流を深め 質的向上を

## 若妻学級連絡協議会



りに応じた組織のつくり方、学習計画のたて方を学んだ。

### 地域、自治活動の中で

孤立化しがちな人々の心のつながりを求めて、朝夕のあいさつ、親子花壇、子供会、盆踊り、奉仕作業などを行っていることが、部落自治会から認められ、補助金を出してくれている所もあり、嬉しいことである。と、

### 事業重点と新役員

▽ 新年度事業の重点として、アンケート調査の結果を分析し、それぞれの学級に役立てる。理論学習と併せて、実践活動を展開する。

▽ 町内、町外の学習グループとの交流を深めながら、相互の質的向上をはかる。

▽ リーダー自身の研修を深めると同時に、次期リーダーの養成をはかる。

### 記録活動の実施

▽ 役員は次のとおり  
▽ 会長 中島恵美子 (脇神) ▽ 副会長 中島静子 (川口) 成田洋子 (田中) ▽ 書記 日景みち子 (榎沢) 田村セツ子 (大沢) ▽ 会計 佐藤ちな子 (妹尾館) ▽ 監事 藤田節子 (前山) 成田秀子 (緑ヶ丘) ▽ 幹事 松橋明子 (深関) 岩谷文子 (綴子下町) 藤島ハル (太田) 島山正子 (李岱) 能登栄子 (藤株) 小塚誠子 (堂ヶ岱) 伊賀恵美子 (小ヶ田) 笹代トメ (葛黒) 長岐厚子 (七日市) 亀山良子 (田沢) 宮野節子 (前野) 花田ミサ子 (脇神)

## 部落訪問



＝ 品 類 ＝

七日市農協の総会のあった四月三十日はよく晴れて、鯉のぼりがあちこちにいきおいよく泳いでいた。総会前の午前九時すぎ、会場の基幹センターで、品類部落の前の会長、布田久直さんと会い、いろいろお話聞いてから部落にでかけた。

国道一〇五号線を走り七日市を過ぎ、橋のそばから左側の岩脇部落に入り、川岸沿いの道を進むと小猿部川と品類川の合流点がある。まもなく品類部落二十世帯が川をはさんで並んでいる。役場からは約十一軒ある。

この歴史については、浅利氏の家臣、品類又助 (三十五) が派遣され駐留したのが永正十五年 (一一一八) また、正徳元年 (一一七一) 品類村開発して七日市の支郷となる。肝煎は七日市村を支配するなどの記録があり、その頃の家七軒は現在の宮腰、布田家の祖先である。布田さんに聞いたこの土産

神「クサハ幡神社」にお参りする。クサとは顔などのデキモノのことで、昔祭典の日には方々から多くの患者がお参りし、そ

の時に奉納した小さな鎌がたくさん御神体の傍にあった。この鎌で患部をなで草を刈るおまじないをしたという。

この部落では昔から火事がなかったことを誇りにしている。どここの家でも炭焼きをし、それだけに火への注意を厳重にしていたからであろう。

昭和五十年夏の集中豪雨は鉄砲水となって、川べりの田圃を一瞬にして破かい去った。その復旧と共に高台の原野にも水をあげ開田し、現在約三十haがこの耕作面積である。かつては二十八基もあった炭焼き窯は今六基に減ったが、現在尚東京方面に炭を出している。南小、中学生は約四軒の道を、南小、南中へ徒歩で通学している。

(公民館長 長崎 久)



炭焼きがま

### アンケート調査から

七月十二日のアンケート調査 (回答者二百三十七名) によると、▽ 若妻学級に入って良かったと思っている人が七十パーセントいる。

▽ 会員の年齢については制限しない方がよい、との意見が多い。▽ 学級に出る時、殆どどの家族

が協力的であるので、期待にこたえる学習実践に努力したい。▽ 学習計画には、もっと本音を出しあって内容の充実をはかるべきである。

### 交流会、移動研修で

▽ 若妻学級独自の事業の他に、地域の他団体との協力関係を強めなければならない。▽ 十二月二日 綴子公民館での交流会で、北島洋子先生から「女としての驥」の大切なことを教えられた。▽ 十二月十二日 「魅力ある学級づくり」について真剣に討議した。▽ 二月十日 阿仁町比立内に移動研修、幸屋、幸屋渡、比立内の若妻と交流、年齢の広が



# みんなの広場



かきどうし

つるが伸びて、垣根をくぐり抜けることでこの名がついた。道ばたに普通。

(理科教育センター 阿部達雄先生)

歩こう会・走ろう会に

## 参加して

舟場 佐藤 実(40)



私が歩こう会、走ろう会に参加したキッカケは体力

はむろんのこと精神力の養いと、ストレッチ解消に最適だと思っただけです。もう早いもので今年で四年目を迎えました。土曜日の朝六時、準備体操をし、決められたコースを気軽に駆け巡ったことや、朝のすがすがしい空気を胸一杯に

吸いこんでひと汗ふきとるときの爽快さはまた格別でした。

去年は近所の小学生低、高学年数人と十五日間の日程を無事完走しました。時には悪天候にも負けず、教育委員会の方々にタイムを計って頂きその都度記録表とにらめっこをしている姿、喜びを顔一杯に表わし、走ることが何なのか無知な子供達でも、決められたことを最後までやり通そうとする忍耐力、また精神力の養いで少しでも今後の成長過程において、役に立ってくれるのであれば有難いことだと思っただけです。

## わたしのおとうさん

おとうさんは、わたしがくだものほしいという、なんでもかかってきてくれるので、そこが大好きです。

いつも、やくばから五じ二十ふんころかえってきて、おべんどうをおいて、花などのせわをします。



## 広報のしおり

庭の草

と、我が家の小さな庭にも雑草が目立って伸びてきました。自然の恵みと生きものの

体力が鍛えられてきたものだと思います。こうしてスポーツを通して、より多くの皆さんと親睦を得ることが出来たことも大きな収穫でした。当時緩子走友会の皆さんと交流を深められた意義は大きく、私達の住んでいる地域の先輩、分館、夫々の関係有志のご協力のもとに、立派に沢口走友会の結成を見たのもこの当時です。

最近早朝から夜遅く、ジョギングをしている方々をよく見かけます。現代社会の特徴ともいえる、機械的文化的発達による運動不足の解消が、人それぞれの目的は違っているにもかかわらず、走り続けることには変わりはないと思います。最後に会の発展を祈り多数の町民参加で互いに身心を鍛えようではありませんか。

おとうさんはうちのものをたいせつにしているので、えらいなあとおもいます。



中央小学校 2年 さとう ゆか

力強さを感じます。雑草はあまり強く根を張らないうちに取り除かないと始末におえなくなります。ひと雨降った翌日とか、露しめりの残った朝のうちが取りやすいのですが、取ったまま放っておくと、また根づいてしまいますから、あと始末もいっしょにすませましょう。庭の草とり

などと軽く考えて、いっぺんにやっつけてしまおうと思うと、やりつけない仕事は案外むずかしく、とくにしゃがんで指先にだけ力のある作業だけに疲れやすく、あと、なにもするのがいやになるほどですが、そうならないように、毎日少しずつ取るように、範囲をきめて取ってゆくのも一案です。

# たかのす文芸

## 植樹

黒沢 大川 作五郎

詩

一時(ひところ)は花の都にあこがれて家を出ようと思っただが、こんな夢なぞ打捨てて土に生きようと堅く決めた。父祖からの田畑の作業に山の作業に精出し続け今朝の輝きに一人山深く鶯の声を子守うたに幼い苗に愛情こめて植える。この土にしっかりと根を張って素直に大人杉に成長し早く世に出て役立つようにと心で呟きながら……。

おしらせ



一級美術士 九島繁二氏

五月の健康相談

成人健康相談は、二十八日です。時間は、午前九時から午後三時まで、血圧測定と尿検査。

妊婦健康相談は、十九日です。時間は、午前九時から午後三時まで。

おおいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

また、今月の母親学級は、母乳栄養と妊娠中期の注意について。時間は、午前十時半から十一時半まで。

※場所は、いずれも鷹巣公民館保健相談室です。

国税専門官募集

国税庁では、国税専門官を募集

鷹巣地区いっせい清掃

鷹巣地区のいっせい清掃を、次の日程で行います。重点事項として、側溝のどぶ上げ、家庭内外の清掃、道路、公園、会館等の公共施設の清掃、各自の尿浄化槽の保守点検等…ご協力をお願いします。

Table with 3 columns: Date (月日), Day (曜), Location (町内名). It lists the schedule for the 'Egusa Area All-in-One Cleaning' event from May 18th to 21st.

しています。

これは、国税専門官試験に合格し採用されますと、実務に従事する前に税務大学校で三ヶ月程度の初任者研修を受けます。さらに三年経過後、六ヶ月程度の専門研修を経て国税調査官、国税徴収官などに任用されます。

募集要領は…

▽受験資格 昭和二十八年四月一日から昭和三十四年四月一日まで

▽試験日 第一次試験(七月十二日および十三日)、第二次試験(九月十日または九月十一日)

▽最終合格発表 十一月一日

▽申し込み先 仙台市本町三三三 人事院東北事務局

なお、くわしいことについては大館税務署総務課(電話 大館四二一〇六七)へお問い合わせください。

海外協力隊員募集

青年海外協力隊事務局では、五十五年度派遣の隊員を募集しています。

協力隊は、アジア、アフリカ、中近東、中南米、南太平洋の開発途上国に対して技術、技能を身につけた満二十歳から三十五歳までの青年男女を派遣して、各国の国づくりに協力するものです。

派遣期間は二年間で、現地での生活費は月額二百ドル基準。その他に無職で参加の場合は、国内積立金七万四千五百円(五十五年度は改定予定)。

選考試験は、第一次(筆記)が七月六日、第二次(面接)が八月四日(九日のいずれか一日)。

願書締め切りは、五月三十一日まで、東京都渋谷区広尾四二二四 青年海外協力隊事務局へ必着となっています。

願書の請求、お問い合わせは、秋田県農政普及教育課海外担当(電話 秋田六〇一四九五)へ。

新町内協力委員紹介

- List of names and locations for the new town cooperation committee members, including names like 小島吉郎, 出川春治, etc.

香典返し

このほどのかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

- List of names and amounts for those who returned funeral gifts, such as 寺田トミさん from 三四郎さん.

慶弔だより

4月16日~4月30日

誕生おめでとうございます

- List of birth announcements for children of 千葉 正人, 成田英里香, etc.

- Obituary notice for 小山 裕佳裕昭 (長女 あげばの 佐藤 博(武雄) 長男 あげばの 小笠原貴子(哲雄) 長女 前山 吉田友香子(和友) 三女 旭町 佐藤 孝子(政己) 長女 栄町 藤原 敏修(雅己) 長男 葛黒

二人の前途を祝福いたします

- List of names and locations for those who received funeral gifts, including 柴田 久美子, 鈴木 久美子, etc.

おくやみ申しあげます

- List of names and ages for those who were visited, such as 寺田三四郎 (55歳), 細田一之助 (85歳), etc.